

イスタ

Akita Prefectural University



東日本大震災
復興支援プロジェクト



東日本大震災
復興支援プロジェクト



押忍っ



東北国公立大学柔道大会
男子90kg以下級で2位獲得!!

鶏フェスティバル



ドッコイショ〜
ドッコイショ〜



秋田県立大学 羊燈会

第9回
科学フェスティバル



第61回秋田県発明展
秋田県知事賞

ホップ・ステップ・キャンパス
ミニかまぐらの制作



特集

卒業生・修了生インタビュー

この3月に秋田県立大学から巣立つ卒業生・修了生に本学での生活などについて、いろいろお話をうかがいました。

CONTENTS

- 県大の1年を振り返る…………… p01 » 04
- 学生・教員 受賞…………… p05 » 08
- [特集] 卒業生・修了生インタビュー… p09 » 12
- 図書館だより…………… p13 » 14

2012年 4月~

県大の1年を振り返る

4
April

中国・陝西科技大学訪問団が来学しました

4月25日、陝西科技大学の李樹暉副理事長をはじめとする6名の訪問団が、小間篤学長を表敬訪問するとともに、秋田キャンパスを視察・見学しました。

陝西科技大学は、1958年に創立され、古都西安に位置し、化学化工学院、材料化学と工程学院、資源環境学院、生命科学と工程学院、管理学院、機械システム学院、電子情報システム学院など16の学院(学部)で構成されている総合大学です。今回の訪問で、陝西科技大学の李樹暉副理事長は、本学との間で学術交流のほか、学生同士の交流など幅広い交流を進めたいと話しました。

5
May

第2期中期計画期間の学長アクションプランを発表

小間篤学長より、第2期中期計画期間の学長アクションプランを発表。2012年4月から第2期中期計画期間がスタートするが、第2期では、今までに確立した教育、地域貢献活動の優れた点を伸ばす一方、理系大学として大学院も充実した大学、研究面においても輝く大学とすることを重点施策としたい。すなわち、大学の立ち位置としては、「教育を重視する研究大学」を目指す。また、本学が目指す研究の方向としては、「人間の持続可能な発展に資する科学・技術」とする。(第2期中期計画期間の学長アクションプランより一部抜粋。全文は本学HPに掲載しております)

共同ライフサイクルデザイン工学専攻 設置

秋田大学・秋田県立大学大学院共同教育課程・共同ライフサイクルデザイン工学専攻が設置されました。国立大と公立大による共同大学院設置は国内初となります。共同ライフサイクルデザイン工学専攻では、製品の企画・設計、資源の採掘、製造から廃棄・リサイクルに至るまでの「ライフサイクル」において、環境負荷を低減する技術を研究開発します。本学の建築系、経営系、秋田大学の環境資源、応用化学、土木系、そして両大学の機械、電子・情報系の領域が融合した新しい工学です。修了時の学位は両大学院の連名になるほか、学生は両大学の施設を活用し、両大学の教員の指導を受けることができます。第一期生として両大学院合わせて17名が入学し、4月23日には、共同ライフサイクルデザイン工学専攻の設置記念講演会が開催されました。

在日タイ王国大使館学生部 公使参事官をお迎えしました

5月15日に在日タイ王国大使館学生部 公使参事官アリニー・タナワットサッチャセリー氏が来学し、小間篤学長を表敬訪問しました。

タイ王国大使館学生部はタイ政府派遣奨学生の派遣などを行っており、日本へのタイ人留学生を増やすために全国の国立大学を訪問し、大学の方針や特色、今後の留学生の受入などについての情報を集めているとのこと。公使参事官は、本学の教育方針や研究内容のほか、バイオテクノロジーセンターの活動などに強い興味を持たれ、熱心に質問をされていました。

現在、本学にはコンケン大学から2名の大学院生が留学しており、イネの分子生物学を学んでいます。公使参事官は、今後もタイの大学との交流やタイ人留学生の受入が進むよう強い期待を述べられていました。

岩手県大槌町と県立大木材高度研究所が 震災復興支援で協定締結

木高研

5月10日に岩手県大槌町役場庁舎で、大槌町(碓川豊町長)と秋田県立大学木材高度加工研究所(飯島泰男所長)の震災復興に関する協定について、秋田杉でできた協定書へ調印し協定締結を行いました。

この協定により7月5日には大槌町内に木高研と日本機械工業などが共同で開発した組立式の木橋が設置されました。



6
June

NHK大学セミナー& フィールド交流祭in大潟を開催

大潟
キャンパス

6月10日午前10時から、大潟キャンパス新大講義室において、NHK大学セミナーが開催されました。このセミナーはNHK秋田放送局による県内大学で、著名人を講師として派遣し、学生向けの講演・トークショー等を毎年実施しているもので講師は女性登山家の田部井淳子氏をお招きしました。

NHK大学セミナー終了後、会場をフィールド教育研究センターへ移し、フィールド交流祭in大潟が開催されました。



7
July

流しそうめん& ボート体験会を行いました

本 荘
キャンパス

7月7日に、由利本荘市の子吉川河畔で薫風・満天フィールド交流塾のイベント「竹割りからはじめてみよう流しそうめん」と「ボート体験会」を行いました。秋田キャンパスからも2名の学生が参加しました。流しそうめんには22名の学生が参加。竹を2つに割り、中にある節を抜いて流しそうめんの装置を作るところから自分たちで準備を行いました。

折しもこの日は「そうめんの日」。装置が完成すると、満腹になるまで流しそうめんを味わいました。

ボート体験会には留学生ら7名が参加。経験者の方の指導を受けながら、1時間ほど水上での活動を楽しみました。



オープンキャンパスを 開催しました!

本 荘
キャンパス

秋 田
キャンパス

7月14日秋田キャンパスにて、生物資源科学部のオープンキャンパスが開催されました。前日の雨模様も落ち着き、午後は日差しが降り注ぐ天候となり、県内外から来ていただいた高校生の方やボランティアの学生スタッフの熱意もあってか、キャンパス内は熱気に包まれていました。7月22日には本荘キャンパスで、システム科学技術学部のオープンキャンパスが開催されました。本荘キャンパスのオープンキャンパスには、県内外の高校生を中心として約300名の方がお越しくださいました。今回は研究室を開放し日頃の研究成果を紹介するなど、地域住民の皆様にも大学の雰囲気を楽しんでいただけました。大型の実験機器・特殊な環境の実験室は特に人気で、実際に見学・体験してみようと長蛇の列ができていました。



上海理工大学 短期留学受入プログラムを実施

本 荘
キャンパス

7月22日～8月6日まで、上海理工大学の学生8名・教職員4名が短期留学のため本荘キャンパスを訪れました。

上海理工大学と本学は平成23年1月に大学間協定を締結し、同年9月にはシステム科学技術学部・研究科の学生計8名が上海理工大学の短期留学プログラムに参加しています。これを受け、本荘キャンパスでの海外協定校学生の短期受け入れが実現しました。

留学生らは日本建築や日本文学に関する講義を受けたほか、秋田県知事表敬訪問、市内高校生との交流、県内外各地の見学など多忙に過ごしました。受け入れ期間中は、昨年上海理工大学を訪問した学生が中心となって留学生の支援員を務め、秋田での暮らしをサポートしました。



本 荘
キャンパス

夏休み科学教室 「創造学習」を行いました

8
August

8月4日～7日までの4日間、県立大学本荘キャンパスで夏休み科学教室「創造学習」が行われました。このイベントは今年で5回を数え、市内の小中学生のみならず秋田市や県外から帰省中の児童生徒の皆さんも参加してくれるまでに成長しています。今年も94人の皆さんが実験や工作を通して科学の楽しさを学びました。

また、同日程で県・学術振興課主催の「あきたサイエンスクラブ科学講座」も実施されました。こちらは中高生が対象で、4日間を通じてシステム科学技術学部4学科に関連する講義を受けました。自分の髪の毛を使って実験したり、風車の模型を作って風力発電について学んだり、実際に体験しながら学習することで、知識もより深まったのではないかと思います。



2012年 4月～

県大の1年を振り返る

September

東北森林管理局と 連携協定を締結

9月28日に東北森林管理局(東北森林管理局長 矢部 三雄)と公立大学法人秋田県立大学(理事長 小間 篤)は、森林の有する多面的機能の持続的発揮や、森林・林業の再生及び地域振興の推進に向けて一層の協力関係を築いていくために「連携と協力に関する協定」を締結しました。



タイ・カセサート大学農学部 訪問団が来学

秋田
キャンパス

本学生物資源科学部と学術交流に関する学部間協定を締結(7月10日締結)したタイ王国カセサート大学農学部から、教員1名と学生4名が来学し、9月18日に小間学長を表敬訪問しました。同大学農学部は、タイ王国のみならず、東南アジアでよく知られた農学の研究機関であり、現在、本学のアグリビジネス学科の学生が同大学の国際プログラム「熱帯農業」に留学しています。訪問団一行は、9月17～24日までの約1週間の日程で、大湯キャンパスにある学生寮に宿泊し、模擬講義の受講や実験を行うほか、バイオテクセンターやフィールド教育研究センターの視察、県内の果樹農家の訪問などを行いました。18日は、学長表敬の後、午後には、竿燈会のサークル活動を見学し、軽快なお囃子に合わせて繰り出される竿燈の妙技とともに、部員との交流を楽しんでいました。



潮風祭

本 荘
キャンパス

松風祭

秋 田
キャンパス

大学祭を開催

10月6、7日の2日間にわたって、本荘キャンパスの大学祭「潮風祭」を行いました。14回目となる今年は本荘とENJOYをかけた「HONJOY」をテーマに、大学祭に来ていただいた方々と共に楽しもうという思いのもと、学生らが祭を盛り上げました。今年は復興支援の一環として、岩手県山田町産のホタテとサンマの無料配布を実施しました。香ばしい匂いに誘われて、テントの前には長蛇の行列ができました。10月13、14日には、秋田キャンパスの大学祭「松風祭」が行われました。「祭`さかだれ」と題し、「秋田県らしさ」「秋田県の良さ」を発信していき、県外出身の学生にもこの大学祭を通じて秋田を感じてほしいという思いを込めて開催されました。

October

男鹿市と連携協定を締結

10月26日に男鹿市(渡部 幸男 市長)と公立大学法人秋田県立大学(理事長 小間 篤)は、相互に連携し地域社会の発展や産業振興に寄与することを目的とし、男鹿市を中心とした地域社会の発展に貢献するために協定を締結しました。



秋 田
キャンパス

平成24年度 秋田県立大学公開講演会を開催

10月28日午後2時から秋田県立大学秋田キャンパス大講堂において、平成24年度秋田県立大学公開講演会を開催しました。今年度の講師の先生は、大学共同利用機関法人 自然科学研究機構機構長の佐藤勝彦先生をお招きして、「宇宙はどのようにはじまったのか、終末はあるのか?」と題した講演をしていただきました。



平成24年度 三大学連携事業を開催

11月17日午前10時から、男鹿市脇本公民館を会場に「平成24年度三大学連携事業 留学生とおしゃべりCooking in 男鹿市」を開催しました。

秋田県内国公立三大学(秋田大学、国際教養大学、秋田県立大学)により実施されている連携事業も今年で4回目となり、各大学に通う留学生と男鹿市内の小学生と一緒に留学生の母国の料理を作りました。

参加して下さった留学生は、ベトナム(秋田大学)、フランス・モロッコ(国際教養大学)、中国(秋田県立大学)出身の留学生で、生春巻き、キッシュ・ロレーヌ、タジン ラヘム ベル ベルクック、中華餃子の4品を各グループにわかれて、小学生と一緒に作りました。

できたそれぞれの料理は皆でテーブルを囲み、味わいました。どの料理もとても美味しく、皆さん素敵な笑顔でたくさん食べていました。

November



「東日本大震災 復興支援プロジェクト」実施 —ふれあい交流会 in ししおり—

11月24日、宮城県気仙沼市・鹿折中学校住宅集会所で、薫風・満天フィールド交流塾主催の「東日本大震災復興支援プロジェクト～ふれあい交流会 in ししおり～」が実施されました。会場ではきりたんぼ鍋や由利牛の串焼き等を無料配布したほか、月球儀や落ち葉を使ったししおり作りを通じて、学生と地域住民が交流を深めました。東日本大震災復興支援プロジェクトは昨年に続き二回目。先の震災で被災した気仙沼市の復旧と復興に向けた支援の一環として、復興支援団体「up←A」が企画・運営し、学生・教職員の有志が集まり実施しています。

きりたんぼ鍋は秋田・大潟キャンパスの料理同好会が、由利牛の串焼きは本荘キャンパス学生自治会が調理しました。同時配布した秋田県産ひとめぼれとともに、秋田の味を楽しんでいただけようでした。



「菜の花を活用した校外環境学習 in秋田県立大学」が開催されました

11月28日に秋田市仁井田にある秋田市立大住小学校の校外環境学習が、本学秋田キャンパスにて行われました。

毎年行われている「菜の花を活用した校外環境学習in秋田県立大学」は、今年が5年目となります。大住小学校5年生全員(104名)が、総合的な学習の時間を利用して、秋田県立大学がNPO法人あきた菜の花ネットワークと協力して県内で進めている「菜の花から始まるエコライフ」推進活動の狙いと現状について学びました。

大住小学校では、秋田市仁井田にある旧農業試験場跡地で菜の花を栽培しており、菜の花から始まる地球環境や地球温暖化防止について学習するほか、菜種の収穫から油の利用、種まきまでの過程を体験しています。



秋田
キャンパス

2013

January

本荘
キャンパス

科学教室&ホップ・ステップ・キャンパスを 行いました

1月27日、本荘キャンパス・創造工房を会場に、地域の子も達を対象とした「ミニミニ科学教室」が行われ、廃油を利用したろうそく作りなど全6テーマの講座が実施されました。廃油ろうそくは、同日南内越アドベンチャースクールが主催したイベント「ホップ・ステップ・キャンパス」で、ミニかまくらに灯されました。

ミニミニ科学教室は2011年から始まり、今年で3回目の実施となります。本学からは「廃油からのろうそく作り」をはじめ、「CD分光器でスペクトル観察!」「きらきら光る星空をつくろう!」「ピンホールカメラをつくろう!」の4テーマを、「科学する心を育む会」(協力)の皆さんは「大気中の窒素酸化物の測定」「静電気で遊ぼう」の2テーマを用意。子ども達は家族と協力しながら工作等を楽しみました。工作の指導は本学学生25人が担当し、地域の子も達に科学の面白さを伝えました。

科学教室に引き続いて開催されたホップ・ステップ・キャンパスでは、ミニかまくらの製作や凧揚げ教室、打ち上げ花火が行われました。イベントの合間には、豚汁・玉こんにゃく・甘酒が振る舞われ、参加者らが冷えた体を暖めました。このうち豚汁と玉こんにゃくは、南内越地区の皆さんと漫画アニメ研究部の学生が調理しました。日がすっかり落ち、ミニかまくらに火が灯されると、その光景を見ようと地域の人たちが多数会場を訪れていました。

最後に、今年もこのような素晴らしいイベントを開催して下さった南内越アドベンチャースクールの皆様に、心よりお礼申し上げます。



- ①体験学習I「バイオ燃料の排気ガスはどんな匂いだろう?」バイオディーゼル燃料を使用した自動車と一般の軽油を使用した自動車の排気ガスの二オイをくらべる。
- ②体験学習II「ナタネからどうやって油ができるのだろう?」菜種油搾油の実演(油の搾り方、油の香り、味を体験)

③講義「菜の花から始まるエコライフって何だろう?」

生物資源科学部 環境科学科 渡部岳陽助教より、秋田県で進んでいる菜の花の取り組みの狙いと現状について講義していただきました。





研究・サークル活動などで

Student

計測自動制御学会東北支部 優秀発表奨励賞を受賞

● 電子情報システム学専攻

5月30日に盛岡市産学官連携研究センターで開催された第272回計測自動制御学会東北支部における研究発表において、本学大学院電子情報システム学専攻1年の植栗健太さん(指導教員:徐粒教授)が、計測自動制御学会東北支部優秀発表奨励賞を受賞しました。



Student

東北学生卓球連盟 秋季リーグ戦で男子団体優勝!

● 優秀選手賞に千枝直人さん(電子情報システム学科3年)が選出

8月28~30日、岩手県・花巻総合体育館において、東北学生卓球連盟主催の平成24年度秋季リーグ戦が行われ、男子Ⅲ部で本学の卓球部が優勝しました。Ⅲ部の優秀選手賞には千枝直人さん(電子情報システム学科3年)が選ばれました。



Student

第62回東北畜産学会大会で 「優秀発表賞」を同時受賞

● 生物資源科学専攻

8月30、31日に本学秋田キャンパスで開催された第62回東北畜産学会大会において、本学大学院生物資源科学研究科修士課程2年の佐藤匠さんと修士課程1年の菅原彩子さんは(いずれも動物分子工学研究室所属)、「優秀発表賞」を同時に受賞しました。

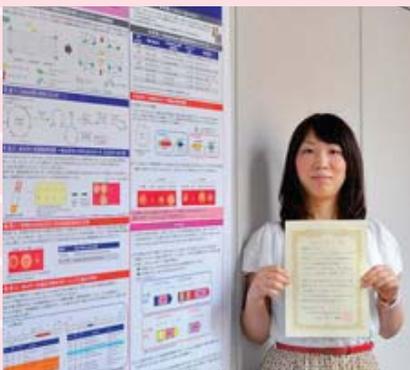


Student

2012年度日本放線菌学会 大会でポスターを受賞

● 生物資源科学専攻

9月7日に東京都府中市で開催された2012年度日本放線菌学会大会における研究発表において、本学大学院生物資源科学専攻1年の友常久実子さん(指導教員:小嶋郁夫教授)が、2012年度日本放線菌学会大会でポスター賞を受賞しました。



Student

大気環境学会で 「ベストポスター賞」受賞

● 経営システム工学科

9月12~14日神奈川県横浜キャンパスで開催された第53回大気環境学会年会において経営システム工学科3年の須藤菜那さんが「ベストポスター賞」を受賞しました。今回のベストポスター賞は、学会の審査員が厳正な審査を行い、学生会員35件のエントリーに対し、3件の受賞の中の一つに選ばれました。

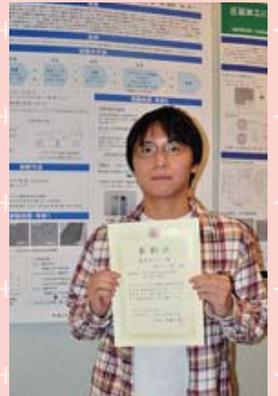


Student

化学系学協会東北大会で 優秀ポスター賞を受賞

● 機械知能システム学科

9月15、16日に秋田大学を会場として行われた平成24年度化学系学協会東北大会において、機械知能システム学科4年の村上卓さんが、平成24年度化学系学協会東北大会で優秀ポスター賞を受賞しました。2日間で総勢約550名の参加があった本大会において、ポスター発表は全分野あわせて330件あり、うち44件が優秀ポスター賞として表彰されました。



表彰されました!!

学生・教員 受賞

学生受賞 ----- Student

Student

日本生物高分子学会2012年度大会で「優秀発表賞」を受賞

生物資源科学専攻

9月21、22日にカレッジプラザ(秋田市)で開催された日本生物高分子学会2012年度大会において、本学大学院生物資源科学研究科修士課程2年の佐藤匠さん(動物分子工学研究室所属)が、「優秀発表賞」を受賞しました。



Student

2012あきた鳥海高原マラソン大会

システム科学技術学部

一ハーフ・男子29歳
以下の部で陸上部が優勝&準優勝

9月23日に由利本荘市で「2012あきた鳥海高原マラソン大会」が開催され、ハーフ(21.0975km)・男子29歳以下の部に出場した本学陸上部の薄上南平さん(機械知能システム学科2年)が優勝、五ノ井浩さん(電子情報システム学科3年)が準優勝しました。



Student

「秋田の住宅コンクール」学生の部で優秀賞を獲得

建築環境システム学科

10月3日に秋田市の秋田ビューホテルで行われた「第26回秋田の住宅コンクール」の審査会において、学生の部で建築環境システム学科4年の石井三保子さんが優秀賞を獲得しました。これは学生の部の第1位に相当する成績となります。



Student

第16回JIA東北建築学生賞に2作品が入選

建築環境システム学科

10月19日、「第16回JIA東北建築学生賞」の公開審査会が仙台市・せんだいメディアテークを会場に開催されました。この審査会で、建築環境システム学科3年の加藤雅人さん・平塚亮太郎さん・福田宏之さんの作品「伝」が奨励賞河北賞に、同じく建築環境システム学科3年の堰内宏香さんの作品「Ripple-音と暮らしのミュージアム-」が特別賞に選ばれました。



Student

第61回秋田県発明展で大学の2作品が入賞

システム科学技術学部

11月10、11日に「第61回秋田県発明展」が秋田市・にぎわい交流館で開催され、133点の応募作品の中から、本学から応募した2作品がそれぞれ(公社)発明協会会長奨励賞と秋田県知事賞を受賞しました。

また、秋田県発明展に先立ち由利本荘市・文化交流館カダーレで行われた第60回本荘由利発明工夫展でも、この2作品が入賞しています。

【(公財)発明協会会長奨励賞】

由利本荘市発明工夫展:
県発明協会賞優良賞【特許の部】

■作品名/「ピエゾケーブルを用いた簡易振動計測装置」

■受賞者/下井信浩教授、間所洋和助教

■概要/震災や経年変化による構造物等の崩壊を事前に予測するために、構造上の歪や応力集中度をモニタリングするための装置である。セン

サ用の電源を必用としないため、長期に渡る構造物のヘルスマニタリングが実現できる。

【秋田県知事賞】

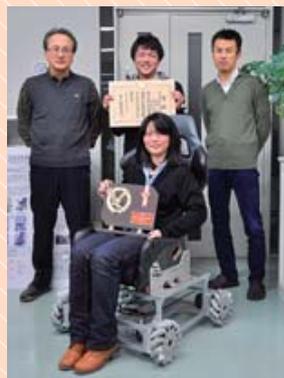
由利本荘市発明工夫展:

(財)本荘由利産業科学技術振興財団理事長賞

■作品名/「全方位移動マイコン電動車椅子」

■受賞者/豊田優(機械知能システム学科4年)、間所洋和助教、佐藤和人准教授

■概要/車輪の表面が45度傾いた樽型タイヤによって覆われているメカナムホイールを用い、車両の全方位移動を可能とした。さらに、タッチパネルに部屋の見取り図を表示し、目的地まで正確に到達するソフトウェアを開発する。





研究・サークル活動などで

学生受賞 ----- Student

Student

東北国公立大学柔道大会・男子90kg以下級で第2位を獲得

—柔道部—

● 経営システム工学科

11月4日に第29回東北国公立大学柔道大会が福島県・福島体育館を会場に行われ、男子90kg以下級で経営システム工学科4年・越川俊さんが第2位を獲得しました。

越川さんは大学1年生で柔道部を立ち上げ、4年間主将として部を牽引してきました。

◆越川さんのコメント◆

今回の大会が学生大会最後の試合でした。自分の大好きな柔道に精を出し練習に励みましたが、決勝で無残に負けてしまいました。応援・期待をしていただいた部の仲間や友人に優勝した姿を見せることができなかったのが本当に悔しく思います。しかし、自分が作った柔道部に同じ

志を持つ仲間が加わり4年間で沢山の人に支えられ活動を続けることができたことは本当に恵まれたことであり、深く感謝しています。皆さん本当にありがとうございました。



Student

秋田県学生バドミントン選手権大会・男子団体に優勝

—バドミントン部—

● システム科学技術学部

11月10・11・17日の3日間、秋田栄養短期大学体育館を会場に秋田県学生バドミントン秋季リーグ戦並びに選手権大会が行われ、男子団体に秋田県立大学(本荘)Aチームが優勝しました。また、男子シングルスでは、田原知拓さん(建築環境システム学科2年)が、男子ダブルスでは田原さん・佐藤祐太さん(機械知能システム学科4年)のペアが

それぞれ第2位に入賞しました。秋季大会で好成績を取めている原因について、部長の石島樹さん(機械知能システム学科2年)と前部長の藤澤諒さん(械知能システム学科3年)は、「東北リーグと県学生選手権大会を視野に入れ、夏休みから試合形式を中心とした練習を行っていることがレベル向上につながっているのではないかと分析します。練習で養った勝負勘は、試合において大きな武器となっているようです。

今後バドミントン部は、東北リーグ3部昇格を目標に、春の大会に向けて練習を続けていきます。



Student

「秋田の森林と建築家を育てる設計競技」で本学学生が入賞

● 建築環境システム学専攻

● 建築環境システム学科

昨年10月11日に、第6回目となる「秋田の森林と建築家を育てる設計競技」の審査会が行われ、建築環境システム学専攻1年・野澤翔太さんの作品が1等選ばれました。また、建築環境システム学科4年・石

井三保子さんの作品が2等に、同4年・豊田真実さん、ならびに同4年・原睦未さんの作品が佳作に選ばれました。

12月9日には、授賞式とプレゼンテーションが秋田市・にぎわい交流館で行われました。

野澤さんの作品「商



店街再生のマイルストーン」は、商店街衰退の原因をそこに居住する商売人の減少にあると考え、商店街の中に住宅を呼び込むことによって行き交う人々の数を増やし、活気を取り戻そうとする、その一歩目となる住宅の提案です。

野澤さんが全国各地の街を訪れ、にぎわいのある街並みを見てきたことが提案のヒントになっています。審査員からは、住宅を広い視点で捉えた点が高く評価されました。

Student

第1回大東建託賃貸住宅コンペで入選!

● 建築環境システム学専攻

● 建築環境システム学科

第1回大東建託賃貸住宅コンペ「風景を作る賃貸住宅」の審査結果が発表され、建築環境システム学専攻1年・野澤翔太さん、建築環境システム学科3年・皆川将太さん、同3年・服部雄介さんの作品「都市を想う空隙」が入選(8点)に選ばれました。表彰式は2月2日に東京国際フォーラムで行われました。

3人の作品「都市を想う空隙」は、「都市への意識」に着目した作品

です。住宅を外から「見える空間」と「見えない空間」にはっきり分けることで、住民は都市からの視線を意識します。その空間を少しだけ整えようとする住居者の意識の変化が「見える空間」から垣間見え、居住者の暮らしが都市の風景となっていく、というアイデアを提案しました。「見える空間」はドアの幅や、会話環とよばれる直径3mの円などを基に設定し、外からの視線を意識



しつつも無理のない暮らしができるように工夫しました。

表彰されました!!

学生・教員 受賞

教員受賞 -----Faculty

Faculty

日本海水学会第63年会上においてポスターアート賞を受賞

● 応用生物科学科

6月7、8日に日本大学生産工学部 津田沼校舎 生産工学部60周年記念棟(39号館)で開催された、日本海水学会第63年会上において、応用生物科学科の石川匡子准教授が、ポスターアート賞を受賞しました。

■タイトル/天然素材との相互作用により塩味が強く感じられる調味塩の開発

■著者/石川匡子、高橋美子、佐藤史奈、遠藤由香、郡司花梨



Faculty

映画英語教育学会において第1回優秀論文賞を受賞

● 総合科学教育研究センター

8月6日、京都女子大学において映画英語教育学会の論文賞の表彰が行われ、本学総合科学教育研究センター岡崎弘信准教授が優秀論文賞を受賞しました。

■論文・タイトル/オリジナル学習支援プログラム「映画英語リスニング・システム」の実践的運用とその検証

■著者/岡崎弘信(秋田県立大学)、新田晴彦(専修大学)、木戸和彦(環太平洋大学)



Faculty

平成24年工業標準化功労者として表彰

● 電子情報システム学科

10月15日に東京都・都市センターホテルにおいて平成24年工業標準化事業表彰(内閣総理大臣表彰、経済産業大臣表彰、産業技術環境局長表彰)が行われ、電子情報システム学科の佐藤宗純教授が平成24年工業標準化功労者として表彰されました。

この表彰は、我が国の産業の発展に資するため、世界で通用する国際標準化人材の育成、我が国における工業標準および適合性評価活動の促進を図ることを目的として、経済産業省が毎年行っているものです。



Faculty

谷川熱技術振興基金 粉生熱技術振興賞を受賞

● 機械知能システム学科

公益財団法人谷川熱技術振興基金の平成24年度熱技術賞および粉生熱技術振興賞受賞者が発表され、機械知能システム学科・鶴田俊教授が粉生熱技術振興賞を受賞し、贈呈式が11月5日に東京都・ホテルブランドパレスにて開催されました。谷川熱技術振興基金は、各種工業炉・燃焼装置およびそれに関連する装置・部品・原材料等の熱技術および生産技術の研究に対し、助成や表彰を行い、その成果の普及啓発を図っている公益財団



法人です。鶴田教授は、燃焼工学の進歩発展に尽力し、特に爆発および防災に関する調査と研究で成果をあげ、熱技術の推進に貢献したことが高く評価され、粉生熱技術振興賞を受賞しました。

◆鶴田教授のコメント◆

蓄熱発火による爆発災害に関する一連の調査・研究業績が評価されました。蓄熱発火を大学の講義で聞いてから実際にその知識が役に立つまで25年ほど経っていました。大学の講義の時間を越えた有効性を実感しています。



Faculty

第十五回日本水処理生物学会賞を受賞

● 生物環境科学科

11月24、25日にかけて北里大学・白金キャンパス(東京都港区)で開催された日本水処理生物学会第49回大会内において、生物環境科学科の尾崎保夫教授が「第十五回日本水処理生物学会賞」を受賞されました。水処理生物分野における多大な貢献に対しこの学会賞が授与されました。





[就職内定先]
東日本旅客鉄道株式会社

駅・乗務員や保線・土木・建設など様々なフィールドがあります。私は車両・機械のフィールドで働く予定です。多くの車両の整備、駅中の機械設備の開発などを行います。



機械知能システム学科
館道 理菜

Tatemichi Rina
(岩手県 / 福岡高校出身)

大学生活で一番印象に残っていることは？

就職活動です。多くの企業を知ると同時に、自己分析をすることによって自分の性格を見つめ直すことができました。いろいろな人と触れ合い、就職活動によって自分の視野を広げることができたと思います。つらい毎日でしたが今ではとても良い思い出です。

大学生活を振り返って、一番感謝の言葉を伝えたいのは誰？

友達です。1年生のときから助けてもらうことが多く、就職活動や教育実習などつらいときや忙しいとき、いつも相談に乗ってくれました。女子が少ない分、仲良くなれたと思います。4月からみんなと離れてしまうと思うと寂しいです。それまでにもっと思い出を増やしたいと思います！

卒業後の目標は？

4月から社会人なので、多くの人と関わり、学ぶことになると思います。自分の言動に責任を持ち、周りから信頼させる人間になりたいです。また、まだ先の話になると思いますが家庭を持ち、ばりばり働くお母さんになりたいです！(笑)



[就職内定先]
NECネットエスアイ株式会社

ネットワークシステムの構築から、その基盤となる通信インフラの工事まで、システムをより安心・安全にご利用いただくためのお客様のパートナーとして、様々な視点からソリューションを提供しています。



電子情報システム学科
進藤 純

Shindo Itaru
(秋田県 / 大曲高校出身)

大学生活で一番印象に残っていることは？

就職情報センターの方々のサポートが素晴らしいことです。エントリーシートの添削や面接練習、グループディスカッションの練習など、就職活動に関することなら何でも相談に乗ってくれます。特に他県で就職活動をしている時にメールで対応していただいたことはとても助かりました。就職活動中は大変お世話になりました。

印象に残っている研究・授業は？

研究室に配属されてからの研究です。私はダイナミックレンジ圧縮についての研究をしました。たくさんの文献を読んで構造を理解し、Matlabを使ってプログラミングの設計を行いました。研究室の先生や先輩、同級生にも手伝ってもらいながらゼロから作り始め、完成した時はとても嬉しかったです。

大学生活を振り返って、一番感謝の言葉を伝えたいのは誰？

両親です。大学生活全てをサポートしてもらいました。入学から卒業までずっとお世話になりました。学業や食生活、就職活動など両親がいなければ充実した大学生活を送ることはできませんでした。これからは少しずつでも恩返しをしていきたいと思っています。



特集 卒業生・修了生インタビュー

大学院では、どんな研究に取り組みましたか？

飛翔昆虫の翅特性や飛行メカニズムについて工学的に解明することを目的として、高速度ビデオカメラ解析システムを用いて翅のはばたき挙動に関する研究を行いました。近年、生物の有するマイクロ・ナノ構造が高い機能性を発現することが次々と発見され、生物の優れた機能・機構を学び応用するバイオメティクスの分野の研究が活発になってきています。生き物を対象とした研究のため実験は大変でしたが、思い通りに撮影できた時は非常に嬉しかったです。

活でした。みんなの支えがあったから苦しい時も乗り越えることができました。とても感謝しています。

今後の目標は？

大学院に進学したいという私のワガママを一度も否定せず、ずっと支えてくれた家族に恩返しをしていきたいと思っています。また、県立大学で学んだ知識を生かし、一人前の技術者になることはもちろん、グローバルに展開するTDKで世界を目指してチャレンジしていきたいです。

大学院進学を考えている人へメッセージ

大学院はより専門的な知識を学ぶことはもちろんですが、自分のやりたいことに思いきりチャレンジできる時期でもあります。研究・アルバイト・ボランティアなどは学生だからこそできる良い経験です。学部時代とは違う自分を発見してみてください。また、県立大学は学生をサポートして下さる職員の方ばかりで、些細なことでもしっかりと相談に乗ってくれます。安心して学生生活を過ごすことができると思います。



機械知能システム学専攻
北寺 幸平

Kitadera Kohei
(三重県 / 上野高校出身)

[就職内定先]
TDK株式会社

携帯電話や家電機器、自動車、産業機器など身の回りの電子機器に使われている電子部品を製造する世界屈指の電子部品メーカーです。HDD用の磁気ヘッドでは世界トップシェアを誇り、その高い技術力は世界で認められています。

6年間で一番印象に残っていることは？

研究室のみんなと過ごした三年間が一番の思い出です。修士1年の時には、先輩の塩野さんが研究や就活について熱心にアドバイスしてくれました。私が後輩から頼られる先輩だったのか自信はありませんが(笑)。また、先生方や後輩など周りの仲間から恵まれた学生生



[就職内定先]
株式会社大林組

スーパーゼネコン5社の1つであり、意匠・構造設計、施工等を行う企業です。東京スカイツリーなど日本のシンボルとなる建築から、病院や学校など身近なものまで幅広く施工を行っています。また海外での実績も多く、新技術の開発にも力を入れています。



建築環境システム学科
掃部関 和明

Kamonzeki Kazuaki
(茨城県 / 牛久栄進高校出身)

県大の良いところは？

設備の良さと、少人数教育です。日本に数台しかない実験機器や、各自に与えられるパソコン、ソフトなど、幅広い研究が行えます。講義室や研究室、トイレなども常に清潔で、学習しやすい環境が整っています。また、教員一人当たりの受け持つ学生数が少ないため、学生と教員の距離がとても近いことが魅力の一つでもあります。

印象に残っている研究・授業は？

3年生の夏から冬にかけて行った「コンクリートに含まれる粗骨材の役割」についての研究です。実験、解析を重ね、骨材を迂回してひび割れが進展することで、骨材単体、モルタル単体を破壊する際の二倍のエネルギー吸収に寄与していることが解明できました。サイエンスインカレという大会に出場することができ、多くの人の前で発表できたことは大きな自信につながりました。

秋田に住んでみていかがでしたか？

遊び場がほとんどないのが驚きました。でも遊んでいる時間はないのであまり関係ありませんでした。また、冬場は毎朝・毎晩の雪かきなど、雪の降らない地域出身の私には大変でした…。地域の人々がとても親切で、ボランティア等を通じ、講義では学べない多くのことを学ぶことができる環境だったと思います。



[就職内定先]
東北インフォメーション・システムズ株式会社

東北電力企業グループの一員として、電力グループをはじめ自治体や一般企業へ、情報システム企画・コンサルから、開発、運用、保守そして情報機器販売・リースに至る、トータルソリューションをご提供する企業です。



経営システム工学科
鈴木 千晶

Suzuki Chiaki
(宮城県 / 気仙沼高校出身)

印象に残っている研究・授業は？

経営情報システム演習です。商工会の方や市内の企業様にご協力いただき、企業改善案をご提案させていただくという授業でした。実際に企業様と共に試行錯誤をして、一つ一つの問題を解決していくのはとても大変でしたが、最終プレゼンが終わった後の達成感は忘れられません。

秋田に住んでみていかがでしたか？

同じ東北の出身ですが、雪の多さには毎年苦労しました。毎日の車の雪下ろしや雪かきは大変でしたが、ウィンタースポーツが趣味なので、冬は楽しみな時期でもありました。

卒業後の目標は？

社内外問わず“この人に仕事を任せたい”と言ってもらえる社員になることが、一番の目標です。覚えなければいけない仕事はたくさんありますが、一つ一つ着実にスキルアップを目指して、努力していきたいと思っています。また、大学で出会った友人との関係もずっと大切にしていきたいと思っています。

システム科学技術学部 [卒業生]
システム科学技術研究科 [修了生]

大学院では、どんな研究に取り組みましたか？

ペットの中でも「猫」に注目し、猫と暮らす戸建て住宅における「暮らし」と「住空間」に着目して研究を行いました。これまでのペットと暮らす住宅の研究は、ペットと暮らすための必要設備や建材の研究がほとんどでした。そこで、この研究では「暮らし」と「住空間」について調査分析することによって、猫との暮らしの実態を把握し、猫と暮らすための空間計画について考察することを目的としました。

6年間で一番印象に残っていることは？

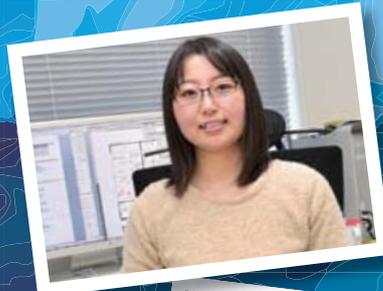
出会いが一番印象に残っています。先輩であったり、後輩であったり色々出会いはありましたが、やはり同期(9期生)との出会いが一番です。はっきり覚えている出来事は少ないですが、それでも、話題に上ればどんな時でも盛り上がること間違いなしです。入学式、あの緊張した中で初めて目にした同期と仲良くなり過ぎた同期。そんなことで今でも笑い合えるのも、出会ったからこそです。

今後の目標は？

まずは、建築士の資格取得を目指します。職場での実務経験を積みながら、早く一級建築士を取得したいと思っています。そして仕事の核となるような人材になりたいです。大きいことを言ってしまうと、いつかは「私ブランド」を確立してみたいです。【○○なら私】、【私なら○○】なんて言ってもらえたら、嬉しいですね。そのためにも、自分をよく知り、努力を惜みず、また一方で気張りがすぎないように趣味も充実させて毎日楽しく頑張りたいです。

大学院進学を考えている人へメッセージ

進学しようとかこの大学院に行くかどうか、色々悩んで良いと思います。最終的に決めるのは自分なので、とにかく自分の納得した方向にいったらいいと思います。どこで何をしようとも、自分自身が納得していないと、意味なく時間が過ぎて不愉快な気持ちと後悔しか残らないのではないのでしょうか。4年間もあつという間ですが、2年間なんてもっと比べ物にならないくらい短いので、自分が納得できるやり方で精一杯やり切れることをしてください。



建築環境システム学専攻
上村 翔子

Kamimura Shoko
(新潟県 / 六日町高校高校出身)



[就職内定先]
株式会社クレイズプラン

新潟市に本社、東京に支社を構える、教育施設、医療施設、集合住宅を中心に幅広く手掛けている設計事務所です。また、構造一級建築士、設備一級建築士の両資格者がいるため、総合的な視点で建築設計を行うことができる事務所です。



[就職内定先]
株式会社 伊藤園

「お〜いお茶」で知られている、清涼飲料の製造・販売、緑茶の製造・販売、烏龍茶・紅茶の輸入・販売、健康食品の製造・販売を行なっている会社です。私は、この会社で品質管理や商品開発などの業務に携わる予定です。



応用生物科学科
松浦 成美

Matsuura Narumi
(静岡県 / 藤枝明誠高校出身)



[就職内定先]
秋田県庁

秋田県の警察、福祉、教育などを総括している秋田県の行政機関です。そのなかでも、私は農業に関する業務に携わる予定です。



生物生産科学科
武田 真梨菜

Takeda Marina
(秋田県 / 大館鳳鳴高校出身)

大学生生活を振り返って、一番感謝の言葉を伝えたいのは誰？

両親です。遠く離れたところからいつも連絡をして私を気にかけてくれ、大学生活を支えてくれました。一人暮らしをしていたので、毎日の家事をすることの大変さを実感しました。料理のレパートリーがなかなか増えなかったので、実家に戻る春から母に教えてもらおうと思います。

秋田に住んでみていかがでしたか？

もともと雪が好きで、幼少の頃からスキーをやっており、降り積もるパウダースノーに感動しました。また、パバヘラやバター餅など秋田に来て初めて知った食べ物や美味しいものがたくさんあり、秋田が好きになりました！私にとって秋田は第2の故郷だと思っています。機会があれば遊びに来たいと思っています。

卒業後の目標は？

社会人になっても勉強する姿勢を忘れないことです。今まで英検や危険物取扱者などの資格取得をしてきたので、これからもさまざまな資格取得に挑戦していきたいです。また仕事の中で多くのことを体験し、それらのことを吸収していきたいと考えています。

県大の良いところは？

高校生の時に想像していたイメージとは違い、先生との距離がとても近く、研究や進路相談など親身になって相談のしてもらえました。これが少人数教育という県大の特長なんだと実感しました。

大学生活で一番印象に残っていることは？

高校生の時から続けている演劇を大学に入ってもサークル「劇団半円ぶたい」で続けたことです。大学祭での公演にあたっては、衣装制作・衣装合わせ、そして演者として様々なことに携わったこと、そして公演後に観客の方をお見送りの際に、友達や家族から「良かったよ」と声をかけて貰えたことが嬉しかったです。

卒業後の目標は？

短期的には社会に通用する社会人に早くなること、長期的には農業の発展を通して秋田県の活性化に貢献することです。大学で学んだ多くのことを活かしながら、柔軟な発想を持って仕事に励んでいきたいと思っています。



生物資源科学専攻
吉谷 梓

Yoshitani Azusa
(栃木県 / 宇都宮清陵高校出身)

[就職内定先]
有楽製菓株式会社

チョコレート製菓メーカーです。コンビニ、スーパーに並び流通菓子、テーマパーク商品、大手小売りのプライベートブランド商品の生産などを行っています。主力商品はブラックサンダーという駄菓子です。

大学院では、どんな研究に取り組みましたか？

地衣類という菌と藻の共生生物の人工的な形態形成に取り組みました。地衣類はほとんどの種において、一度菌と藻に分離すると再び天然体と同じ形態を作りません。したがって共生するための要因を糖類・水分供給条件を検討することで明らかにし、共生関係を結ぶまでの過程を外部形態、内部構造、含有成分において評価しました。

6年間で一番印象に残っていることは？

サークル活動です。私はアンサンブルサークルという音楽サークルに所属していました。6年前、私が加入した時は部員が7人しかおらず、演奏会は年1回しかありませんでした。その後仲間たちと演奏会を企画し、部員を勧誘し、2013年2月現在では43人の部員が年4、5回演奏会を行うほど活気付きました。

今後の目標は？

お菓子作りの技術を磨きたいです。昔からお菓子が大好きでお菓子囲んで話をするだけで沢山の繋がりを作ってきました。それなのでいずれは、自分が生み出したお菓子を通じて沢山の人の笑顔になってもらいたいと考えています。そうすることでこれまでお世話になった家族、友人、先生に恩返ししたいと思います。

大学院進学を考えている人へメッセージ

私は企業から内々定を貰っていましたが進学を決めました。お金は後からでも返せますが、チャンスは今しかないと思ったからです。この大学では他大学では簡単には使えない機器を用いた少人数教育を受けることができます。また特待生制度、TA募集など、金銭面で支援してくれるので迷っているなら挑戦してみてください。

特集 卒業生・修了生インタビュー



**【就職内定先】
秋田基準寝具株式会社**

病院や介護福祉施設、ホテル・旅館などの業務用寝具のリース(リネンサプライ)と、病院やレストラン等のユニフォームレンタル、介護用品や業務用洗剤の販売などを行なっている会社です。



生物環境科学科
池田 里美
Ikeda Satomi
(秋田県・秋田工業高校出身)

県大の良いところは？

秋田県について何か研究したい、秋田の行事に参加したいと思ったら、挑戦したり参加できたりする環境が身近にあることです。研究は八郎湖を調査フィールドに、秋田の行事への参加としては、秋田県立大学竿燈会に所属し竿燈まつりに参加しました。

印象に残っている研究・授業は？

卒業研究です。毎月1回、八郎湖に流入する河川などに水や土・ガスなどのサンプリング採取に行き、それらを研究室に戻り成分分析などを行いました。本当に大変な作業の連続でしたが、成分分析の結果、採取した場所によって特徴が違うことに驚き、気付くと研究に没頭している自分の姿がありました。

**大学生活を振り返って、
一番感謝の言葉を伝えたいのは誰？**

研究室で指導をいただいた先生方に感謝はもちろんのことですが、研究で帰宅が遅くなっても帰りを待っていてくれたり、朝早く家を出る時でも見送りをしてくれた家族に、本当に感謝の気持ちを伝えたいです。



**【就職内定先】
株式会社アルビオン**

原料や使いごちにごこだわった高級化粧品(スキンケア、メイクアップ商品)を生産、販売している会社です。女性たちの「なりたい肌」に近づけるような商品をつくり、お客様一人ひとりに感動していただけることを目指しています。



アグリビジネス学科
伊藤 朋世
Ito Tomoyo
(秋田県・秋田明德館高校出身)

県大の良いところは？

学生自主研究という制度があるところだと思います。入学してすぐに興味のあることを研究することができました。その研究活動から「農業・農村を元気にし隊」というサークルを新たに設立することもできました。学生自主研究やサークル設立など、学生自主性をサポートしてくれる大学です。

大学生活で一番印象に残っていることは？

「農業・農村を元気にし隊」サークルの活動です。農村のおじいさんおばあさんたちと一緒に田植えや稲刈りをして汗を流したり、地域活性化のためのワークショップやイベントに参加したりと、いろいろな地域でいろいろなことを体験させてもらいました。活動を通してたくさんの方々に出会えたことは、大きな財産です。

印象に残っている研究・授業は？

農産資源利用論です。地域の農産物や農作業の過程で出る廃棄物の他に、地域に当たり前のようにある自然環境や建物、人物などは、ちょっと見方を変えるだけで実はとんでもない価値を持つもの(=資源)になることを知り、目からうろこが落ちました。

**生物資源科学部 [卒業生]
生物資源科学研究科 [修了生]**

**大学院では、どんな研究に
取り組みましたか？**

「特定外来生物オオクチバス、ブルーギルの巡航速度」というテーマで、侵略的外来生物として有名なオオクチバスとブルーギルについて、「駆除」だけではなく、侵入や拡散を未然に防ぐ「防除」という視点も取り入れて、効率的な対策のために必要な基礎的なデータの一つである遊泳能力を解明するための研究に取り組みました。

**6年間で一番
印象に残っていることは？**

私が6年間で一番印象に残っていることは、大学院2年の時に学会発表のために北海道大学へ行ったことです。3日間に渡って学会が開催されたこともあり、北海道での滞在時間が長かったため、夜には研究室の後輩と札幌の街中を巡ることができ、いい思い出となりました。

今後の目標は？

今後は福島市職員として震災復興や除染作業を行っていく中で、大学で培った知識や研究で得られた知見を復興に活かしていくことで、人と自然が共生することが出来る、震災以前よりもさらに住みやすい街づくりを行っていくとともに、時間を見つけて大学院での研究を継続して行っていきたいと思っています。

**大学院進学を考えている人へ
メッセージ**

大学院ではより自由なテーマで専門的に研究を行うことができます。研究の手法なども自分で試行錯誤しながら進めていくことが多いので、自分で研究を進めていく達成感や、充実感を得ることができます。また、自分のペースで研究活動を進めていくことができるため、自分の時間も作りやすく、充実した学生生活が送れます。



生物資源科学専攻
大内 威人
Ouchi Takato
(福島県・橘高校出身)



**【就職内定先】
福島市役所**

福島県の県庁所在地である福島市の市役所です。その中でも私は、土木職で採用されたため、福島市の除染作業等に力を注いでいきたいと思っています。

図書館だより

図書・情報センター

グループ学修室が 新しくなりました!

学生自主研究やゼミでのグループ発表など、
数人で話し合いながら学習したい場合に、ぜひ
活用してください!



電子ホワイトボード

書いた文字を
そのまま印刷できるんです!
しかも、USBに取り込み可能!



巨大テレビ& DVDプレーヤー

なんと、60インチの大画面!
DVD鑑賞ができちゃう!
友達数人で一緒に観よう!



プロジェクター & モバイルスクリーン

ゼミ発表など、
使い途たくさん!



時間延長しました! 夜までゆっくり使えるよ☆

- 秋田キャンパスは22時まで
- 本荘キャンパスは23時まで

- グループ学習室を利用する場合は、
図書館カウンターに利用申請書を
提出してください。
- ヘッドホンなどはカウンターで貸出します。

みなさん
どんどん利用して
くださいね!!

※学内者のみ利用可能です。

発表!貸出ランキング! (集計/2012年4月~2013年1月)

システム科学技術学部

機械知能システム学科	1位 HOW TO分子シミュレーション 2位 微分積分 第2版 (工科の数学) 3位 基礎制御工学 (情報・電子入門シリーズ:2) 4位 機械加工学 (機械系大学講義シリーズ:27) 5位 機械力学 (新機械工学シリーズ)
電子情報システム学科	1位 エレクトリックマシーン&パワーエレクトロニクス 第2版 2位 半導体デバイス (電子情報通信学会大学シリーズ:E-1) 3位 やさしい光ファイバ通信 改訂3版 4位 Cで学ぶ数値計算アルゴリズム 5位 基礎音響工学 (音響工学講座:1)
建築環境システム学科	1位 建築構法 第5版 2位 最新建築環境工学 改訂3版 // 鋼構造 第2版第8刷 4位 設計のための建築環境学 5位 Simon and the spy (Penguin readers:easystarts)
経営システム工学科	1位 クループマンミクロ経済学 2位 商業簿記3級 平成24年度版 (新検定簿記講義) 3位 化学通論 修正第3版 4位 健康・スポーツ科学講義 第2版 5位 カ学 (ビジュアルアプローチ)

学部・学科
関連書籍

生物資源科学部

応用生物科学科	1位 生物と無生物のあいだ(講談社現代新書) 2位 酵母:究極の細胞 3位 利己的な遺伝子 4位 人に役立つ微生物のはなし 5位 もやしもん
生物生産科学科	1位 図説野菜の病気と害虫:伝染環・生活環と防除法 2位 遺伝子組換え植物の光と影 2 3位 図集・植物バイオテックの基礎知識 新版 4位 植物が地球をかえた! 5位 園芸学概論 // 植物の顕微鏡観察 (新版顕微鏡観察シリーズ:2)
生物環境科学科	1位 沈黙の春 2位 自然農法わら一本の革命 // 環境社会学のすすめ 4位 台所と農業をつなぐ 5位 ガスクロ自由自在Q&A
アグリビジネス学科	1位 果樹園芸大要 増訂版 2位 ビーター・パン (Ladybird) 3位 農業会計演習帳 4位 地域の力:食・農・まちづくり 5位 Emma and the boy next door

学部・学科
関連書籍

小説ランキング(システム科学技術学部)

1位 謎解きはディナーのあとで [1]	東川 篤哉[著]
2位 夢をかえなえぞう	水野 敬也[著]
// バイバイ、ブラックバード (Postal novel)	伊坂 幸太郎[著]
// 2週間でわかる?SE入門 (電撃文庫)	夏海 公司[著]
5位 ジェノサイド	高野 和明[著]
6位 下町ロケット	池井戸 潤[著]
// ナミヤ雑貨店の奇蹟	東野 圭吾[著]
// Gon, the little fox (Kodansha English library:114)	Written by Nankichi Niimi
9位 告白	湊 かなえ[著]
// 失敗しない?提案活動 (電撃文庫)	夏海 公司[著]

小説ランキング(生物資源科学部)

1位 絶刀・鉦 (講談社Box. 刀語:第1話)	西尾 維新[著]
// 猫物語 白 (講談社Box)	西尾 維新[著]
// 傾物語 (講談社Box)	西尾 維新[著]
4位 かわいそうだね?	綿矢 りさ[著]
// 傷物語 (講談社Box)	西尾 維新[著]
// 偽物語 上 (講談社Box)	西尾 維新[著]
// 花物語 (講談社Box)	西尾 維新[著]
// 舟を編む	三浦 しをん[著]
9位 ジェノサイド	高野 和明[著]
// 夢違	恩田 陸[著]

リクエスト図書

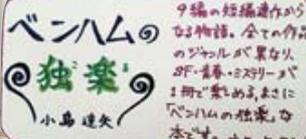
みなさんからのリクエスト大募集中!
リクエストボックスに入れてくてもいいし、
カウンターで直接図書館職員に伝えるのもOK!!
みなさんの読みたい本をぜひ教えてください。

リクエストした図書を 入れてもらいました

- 書名/「ベンハムの独楽」
- 著者/小島 達矢
- 出版社/新潮社 2010年



熊谷くんは
図書紹介のポップも
作ってくれました!すばらしい!



学外者の方へ

〈館内閲覧〉

- カウンターに立ち寄り、氏名・住所等をご記入ください。

〈館外貸出〉

- 運転免許証など氏名・現住所等確認ができる物をご持参のうえ、カウンターにお越しください。利用者証を発行いたします。
- ※学外者の方は休日夜間開館時の利用はできませんのでご注意ください。

〈秋田県立図書館との相互貸借〉

- 本学へお越しになれない方でも、秋田県立図書館を通じて本学の図書を借りることができます!
- 貸出期間/3週間(図書館間の配送日数を含む。)
- 貸出冊数/3冊(図書に限る。ただし、禁帯出、研究室所蔵図書、指定図書を除く。)

※お申し込みは秋田県立図書館カウンターへお願いします。

就職内定・進路速報

(平成25年2月28日現在)

★平成25年3月卒業予定者(第11期生)の就職内定状況

〈システム科学技術学部〉

- 就職希望者/184名
- 就職内定者/179名



〈生物資源科学部〉

- 就職希望者/118名
- 就職内定者/112名



就職内定率

96.4%

(平成25年2月28日現在)

- 卒業予定者382名のうち就職希望者302名、就職内定者291名で就職内定率は、96.4%です。

※平成25年2月28日現在

★主な就職内定先

〈システム科学技術学部〉

- 〈県内〉男鹿市役所、潟上市役所、羽後信用金庫、北日本コンピューターサービス(株)、(株)タカヤナギ 他
- 〈県外〉清水建設(株)、大成建設(株)、野村證券(株)、東日本電信電話(株)、東日本旅客鉄道(株)、富士重工業(株)、(株)北陸銀行、三菱電機ビルテクノサービス(株) 他

〈生物資源科学部〉

- 〈県内〉秋田県庁、秋田おぼこ農業協同組合、(株)秋田銀行、秋田県能代地区土地改良区、東日本旅客鉄道(株)秋田支社、(株)北都銀行 他
- 〈県外〉(株)アルビオン、(株)伊藤園、金港青果(株)、沢井製菓(株)、積水ハウス(株)、(株)ツムラ、大和ハウス工業(株)、日本赤十字社東北ブロック血液センター、(株)ノエビア、ヤンマー農機販売(株)、わかもと製菓(株)神奈川工場 他

★主な大学院合格先

秋田県立大学大学院/島根大学大学院/千葉大学大学院/東京工業大学大学院/名古屋大学大学院/名古屋工業大学大学院/福島大学大学院 他